

進路のパズル 第5ピース 「アドミッションポリシー」

令和2年7月8日
都立小松川高等学校進路指導部

1 3つのポリシー

2017年度からすべての大学に対して「アドミッション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「ディプロマ・ポリシー」の策定と公開が義務付けられた。この3つは大学を選ぶ上でかなり重要なものになる。受験する大学に関しては必ず抑えておこう。また、国立大学2次では面接を課す大学も増えてきているので注意が必要である。

- ・アドミッション・ポリシー（入学受け入れの方針）
- ・カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
- ・ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

大学は建学の精神や教育理念を設けている。建学の精神や教育理念に基づいてディプロマ・ポリシーを定め、その達成に必要な教育方針としてカリキュラム・ポリシーを定めている。この2つを踏まえた上でどのような入学者を受け入れたいかをアドミッション・ポリシーに記している。

特にアドミッション・ポリシーには「どんな人に入学して欲しいか」が表現されているので重要である。さらにアドミッション・ポリシーは学部、学科ごとに定められていることもある。

2 大学からのメッセージをしっかりとキャッチする

例えば入試改革が進む中で明治大学はあまり変更点のない大学といわれている。しかし、その明治大学でも理工学部の総合型選抜では面接を重視し、「理工系のセンス」を測る。農学部は、農業への地域振興への強い意思と行動力を見る地域農業振興特別入試があるという [マイナビ 進路のミカタ, 2020年]。法政大学では2016年に「HOSEI2030」を掲げ「自由を生き抜く実践知」という実践知を備えた人材育成を行うことを表明し、例えば経済学部では、1年次の入門ゼミ、2～4年次に演習と、4年間にわたってゼミ教育を実施している。ゼミでは地域社会、国際社会の問題を経済学的アプローチでどう解決するかを議論し、問題意識を高めた上で自らの専門性を深めていくという。このように各大学が特色をもった方針を打ち出し、授業を展開している。君たちが本当にやりたいことに近い大学はどこかを探していこう。

3 アドミッション・ポリシーの読み方 慶応義塾大学 総合政策学部の場合

アドミッション・ポリシーは各大学のパンフレットおよびHPで必ず掲載されている。ここでは、慶応義塾大学総合政策学部を例にしてどのようなことが書かれているのか見ていこう。

理念・概要

総合政策学部 問題解決のプロフェッショナルを育てる

総合政策学部は、21世紀の世界の問題を発見し、問題を解決して社会を先導する「問題解決のプロフェッショナル」を育成します。いま世界は環境、エネルギー、格差拡大、戦争、民族・宗教対立などひとつの学問領域だけでは解決不可能な問題に直面しています。問題解決に総合的に取り組み、新しい情報ネットワークを駆使しながら、政策立案からその実証実験、そして結果評価まで一連の政策過程を体感できる環境を提供しているのが総合政策学部です。フィールドワークやインターンシップなど、問題解決の現場体験を通じて、皆さんの学びを支援していきます。

アドミッション・ポリシー

総合政策学部は「実践知」を理念とし、「問題発見・解決」に拘る学生を求めます。問題を発見・分析し、解決の処方箋を作り実行するプロセスを主体的に体験し、社会で現実問題の解決に活躍する事を期待します。従って入学試験の重要な判定基準は、自主的な思考力、発想力、構想力、実行力の有無です。「SFCでこんな事に取り組み学びたい」という問題意識に基づいて、自らの手で未来を拓く力を磨く意欲ある学生を求めます。

カリキュラム・ポリシー

「実践知」を理念とし、また「実践」をメソッドとして身につけた「問題解決のプロフェッショナル」育成を目指します。学生が自ら能動的に問題を発見・分析・解決する能力をつけるために、研究会中心の教育課程を編成しています。研究会では教員・大学院生・学部生による共同研究・実践が行われます。

ディプロマ・ポリシー

「実践知」を理念とします。慶應義塾の伝統である「実学」を継承し、社会に生起する様々な問題の解決を模索します。複雑な社会現象のなかから課題を発見し、その解決に向けて政策を立案します。

理念にある「問題解決のプロフェッショナルを育てる」が下の3つにつながっているのがわかる。慶應義塾大学総合政策学部では、君たちがどんな問題意識をもっているのか、問題を見つけられる力、そしてそれを解決するまでの思考、構想、能動性が求められている。つまり、自分が課題をもっていて、それを大学で研究し、解決へと近づけようとする人物が求められている。さらに受験するまでに自分がやりたいこと、研究したいことが明確であること、総合政策学部のどの教授の下で学びたいのかまで言える必要があるだろう。大学はそれぞれ明確なメッセージを出している。例に挙げた慶應義塾大学の総合政策学部はかなり細かくみることで知られている。君たちには、それを正確に読み取り、自分のキャリア像にマッチした大学を見つけ、努力し、合格をつかみ取ってほしい。